

第2章 横浜市の水道施設の紹介

水道施設には、取水施設、浄水施設、送配水施設などがあります。これらの基幹的水道施設は地震によって損傷を受けた場合には、被害が広範囲にわたることから、施設の耐震診断を実施するとともに、ずい道や水路の補強、大口径管路の更新など、施設の耐震強化を進めています。

本市水道には、浄水施設として川井、西谷、小雀の3つの浄水場があります。

川井浄水場は第1回拡張工事により、明治34年に完成しました。本市の浄水場では最も古いものです。創設当時の処理能力は1日当たり1,000m³程度の小規模なものでしたが、その後数回の拡張工事を行い、平成26年4月1日からは、1日当たり172,800m³の処理能力を持つ日本最大の膜ろ過方式の浄水場に生まれ変わりました。

西谷浄水場は第2回拡張工事により大正4年に完成したもので、その後同12年の関東大震災で壊滅した野毛山浄水場分を拡大し、更にその後拡張工事を重ね、第8回拡張工事により1日当たり356,000m³の処理能力を持つ浄水場に増強されました。現在、相模湖系統の水利権水量1日当たり394,000m³の全量処理を可能とすることなどを目的とした、再整備を進めています。

小雀浄水場は、昭和40年に第6回拡張工事の一環として築造した横須賀市との共同施設で、その後の拡張を経て1日当たり1,009,200m³の処理能力を持つ浄水場として整備されました。宮ヶ瀬ダムの稼働に伴う施設の一部休止により、平成21年度からは1日当たり820,000m³の処理能力に縮小しています。

<西谷浄水場の再整備>

「1水源1浄水場」「自然流下系の優先」の方針に基づき、①耐震性が不足しているろ過池や排水池の整備、②水源水質に適した粒状活性炭処理の導入、③処理能力の増強（相模湖系水利権水量の全量処理）を主な事業内容とし、浄水処理施設と排水処理施設の再整備を行っています。また、これに併せて、導水能力の増強と耐震化を図るため、相模湖系導水路（川井接合井から西谷浄水場）を、新たなルートに整備しています。



西谷浄水場

(1) 水道事業の変遷

事業名	許年 月日	起工年月	竣工年月	給水 区域面積 (km ²)	水源内訳
創設	明17. 11. 27	明 18. 4	明 20. 9	5.40	相模川 (三井村字川井) 1,800,000ガロン/日 (8,180 m ³ /日)
第1回 拡張事業	〃 30. 4. 23	〃 31. 6	〃 34. 12	8.01	道志川 (青山村字山王久保) 6,000,000ガロン/日 (27,240 m ³ /日)
第2回 拡張事業	〃 42. 8. 16	〃 43. 8	大 4. 3	16.92	道志川 (串川村大字青山鮑子平) 3,200,000立方尺/日 (89,000m ³ /日)
第3回 拡張事業 (1期)	昭 5. 7. 2	昭 5. 9	昭 12. 3	133.89	道志川 1.152m ³ /秒 相模川 0.98 m ³ /秒 (臨時)
同上 (2期)	〃 12. 2. 5	〃 12. 3	〃 16. 3	168.02	道志川 1.97m ³ /秒 相模川 1.541m ³ /秒 (臨時)
第4回 拡張事業	〃 15. 2. 17	〃 15. 5	〃 29. 11	400.97	道志川 2.00 m ³ /秒 相模川 5.55 m ³ /秒
第5回 拡張事業	〃 31. 1. 24	〃 31. 2	〃 36. 9	405.56	道志川 2.00 m ³ /秒 相模川 4.55 m ³ /秒
第6回 拡張事業	〃 36. 1. 13	〃 36. 4	〃 40. 3	405.60	道志川 2.00 m ³ /秒 相模川 4.55 m ³ /秒
同上 (変更)	〃 37. 12. 28	〃 37. 12	〃 40. 3	405.60	馬入川 2.81 m ³ /秒
第7回 拡張事業	〃 40. 3. 31	〃 40. 4	〃 46. 3	412.94	道志川 2.00 m ³ /秒 相模川 4.55 m ³ /秒 馬入川 8.60 m ³ /秒
第8回 拡張事業	〃 46. 2. 9	〃 46. 4	〃 52. 3	417.63	道志川 2.00 m ³ /秒 相模川 4.55 m ³ /秒
同上 (変更)	〃 52. 5. 13	〃 52. 4	〃 55. 3	422.02	馬入川 8.60 m ³ /秒 企業団
昭和63年度 (変更)	平元. 3. 22	平 元. 4	平 10. 3	431.57	酒匂川 7.01 m ³ /秒
平成13年度 (変更)	〃 13. 3. 29	〃 13. 4	〃 23. 3	436.24	道志川 2.00 m ³ /秒 相模川 4.55 m ³ /秒
平成25年度 (変更)	〃 25. 12. 19	〃 24. 4	〃 28. 3	436.24	馬入川 3.293 m ³ /秒 企業団
現行 (※届出)	〃 30. 3. 16	〃 30. 3	令 8. 3	436.24	酒匂川 7.01 m ³ /秒 相模川 5.777 m ³ /秒

(注) ※は、水道法第10条第3項に基づく届出(事業の変更の認可を要しない軽微な変更)

(参考) 近代水道の創設(供給開始年)

出典:「水道のあらまし」より

	横浜 (明治20年)	函館 (明22)	長崎 (明24)	大阪 (明28)	東京 (明31)	広島 (明32)
西暦	1887	1889	1891	1895	1898	1899
	横須賀 (明41)	北九州 (明44)	京都 (明45)	名古屋 (大正3)	川崎 (大10)	福岡 (大12)
西暦	1908	1911	1912	1914	1921	1923

計 画 給水人口	計画1人1日 最大給水量	計 画 1 日 最大給水量	事 業 費	事業によって新たに築造された施設等
(千人) 70	(ℓ) 82	(m ³) 5,720	(千円) 1,075	三井取入所、野毛山浄水場、 導水管（三井～野毛山間）
300	82	24,520	1,902	川井浄水場、野毛山浄水場増強、 導水管（青山～野毛山間）
800	114	90,820	7,025	鮑子取入所、青山沈でん池、青山・城山ずい道、 西谷浄水場、導水管（青山～西谷間）
750	250	187,500	4,656	西谷浄水場増強、 導水管（大島～西谷間）
820	370	303,400	1,827	鮑子取入口改造、青山沈でん池増強、 久保沢ずい道、導水管（青山～中沢間）
996	470	468,000	2,090,000	西谷浄水場増強、津久井・虹吹・下九沢分水池、 相模原沈でん池、麻溝減圧水槽、相模・横浜ずい 道、導水管（相模原沈でん池～西谷間）
1,200	470	564,000	2,821,000	鶴ヶ峰浄水場、導水管（相模原沈でん池～川井 間）、港南ずい道配水池
1,394	601	784,000	2,323,000	小雀浄水場、寒川取水施設、導水管（寒川～小雀 間）、上郷送水ずい道、日野・金沢ずい道、峰配 水池
1,381	610	842,000	7,694,000	
1,972	643	1,268,000	15,450,000	小雀浄水場増強、導水管増強、環状幹線、港北・ 矢指配水池
2,840	627	1,780,000	37,800,000	西谷浄水場増強、港南台・西谷・小雀・牛久保・ 菅田・高塚・三保・磯子配水池
2,990	595	1,780,000	58,000,000	
3,660	488	1,780,000	—	給水区域の拡張、給水人口の増加
3,750	479	1,800,000	—	給水区域の拡張、給水人口の増加、給水量の増加、 水源の種別変更
3,750	363	1,400,000	108,232,643	川井浄水場の浄水方法変更、鶴ヶ峰浄水場の廃止
3,810	324	1,230,000	—	給水人口の増加

神 戸 (明33) 1900	岡 山 (明38) 1905	下 関 (明39) 1906
仙 台 (大12) 1923	神奈川県 (昭和10) 1935	札 幌 (昭12) 1937

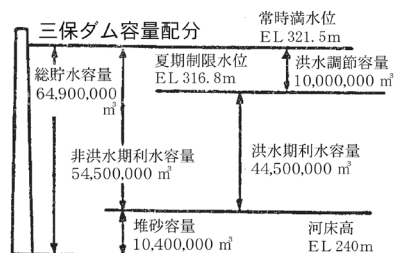
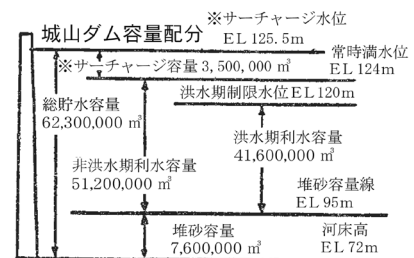
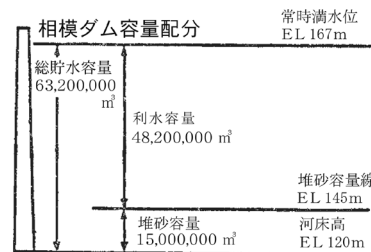
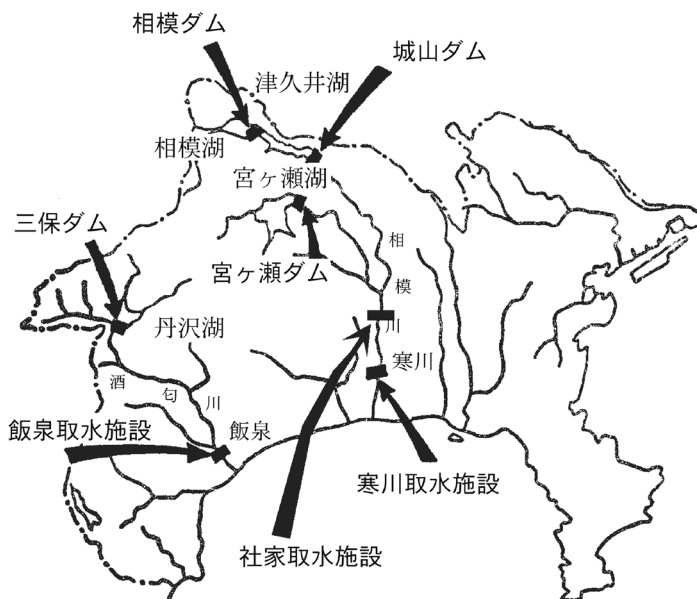
(2) ダム施設

ア ダム一覧

名称 (湖名)	位置	築造目的	有効貯水量	湛水面積 集水面積
相模ダム (相模湖)	相模川水系相模川 左岸:神奈川県相模原市緑区 与瀬 右岸:神奈川県相模原市緑区 若柳	発電・水道・工業用水道及びかんがい用水の多目的利用	(63,200,000 m ³) 48,200,000 m ³ (洪水調節無し)	k m ² 3.26 1,016.0
城山ダム (津久井湖)	相模川水系相模川 左岸:神奈川県相模原市緑区 川尻 右岸:神奈川県相模原市緑区 太井	洪水調節・水道・工業用水道及び発電の多目的利用	(62,300,000 m ³) 51,200,000 m ³ 洪水調節期間中 (6月1日～10月15日) 41,600,000 m ³	2.47 1,201.3
三保ダム (丹沢湖)	酒匂川水系河内川 左岸:神奈川県足柄上郡山北 町神尾田字尾崎 右岸:神奈川県足柄上郡山北 町神尾田字田ノ入向	水道・洪水調節及び発電の多目的利用	(64,900,000 m ³) 54,500,000 m ³ 洪水調節期間中 (6月15日～10月15日) 44,500,000 m ³	2.18 158.5
宮ヶ瀬ダム (宮ヶ瀬湖)	相模川水系中津川 左岸:神奈川県相模原市緑区 青山地先 神奈川県愛甲郡愛川 町半原地先 右岸:神奈川県愛甲郡清川村 宮ヶ瀬地先 神奈川県愛甲郡愛川町半原 地先	水道・洪水調節・発電及び河川維持用水の多目的利用	(193,000,000 m ³) 183,000,000 m ³ 洪水調節期間中 (6月16日～10月15日) 138,000,000 m ³	4.6 213.9 うち導 水流域 112.5

- (注) 1 有効貯水量欄の()内は総貯水量。
2 城山ダムの集水面積は相模ダム分を含む。

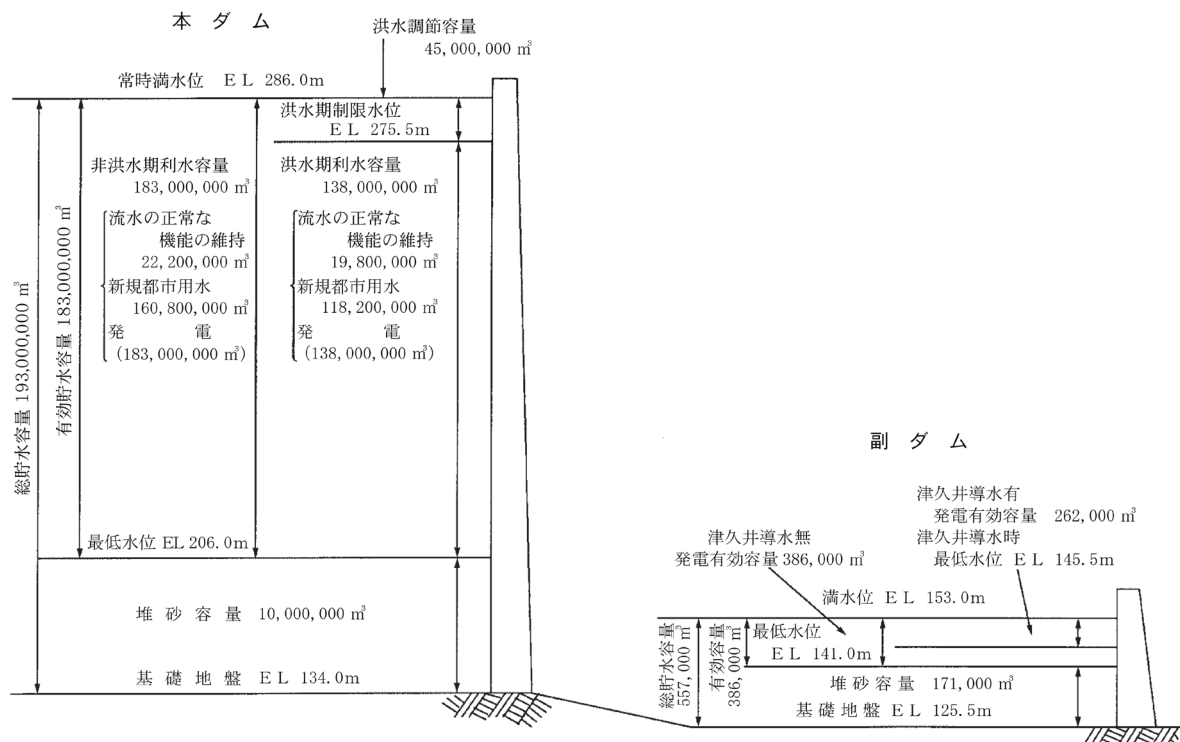
イ 神奈川県内のダム施設位置及び容量配分



※サーチャージ水位(容量) = 洪水時にダムによって一時的に貯留することのできる最高水位(容量)

開発水量	ダムの構造	着工年月	竣工年月	工事費	事業者
m ³ /s 16.65 (畑地かんがい 用水を含む)	重力式コンクリートダム 高さ 58.4m 長さ 196.0m	S15.11	S22.6	2億3,400万円	神奈川県
15.00	重力式コンクリートダム 高さ 75.0m 長さ 260.0m	S36.11	S40.3	98億9,400万余円	神奈川県・横浜市 川崎市・横須賀市 (共同施設)
20.95 (小田原市分 を含む)	土質遮水壁ロックフィルダム 高さ 95.0m 長さ 587.7m	S49.5	S53.7	823億6,840万余円 (うち企業団分 716億9,484万余円)	神奈川県 企業団 東京発電株式会社
15.05	重力式コンクリートダム 高さ 156m 長さ 400m	S62.11	H12.12	3,997億円	建設省(現国土交通省) 神奈川県 企業団

宮ヶ瀬ダム容量配分



ウ 相模湖・津久井湖、丹沢湖、宮ヶ瀬湖の貯水容量

区 分			洪水調節期間	非洪水調節期間	摘 要
			津久井湖 6月1日 ～10月15日 丹沢湖 6月15日 ～10月15日 宮ヶ瀬湖 6月16日 ～10月15日	津久井湖 10月16日 ～5月31日 丹沢湖 10月16日 ～6月14日 宮ヶ瀬湖 10月16日 ～6月15日	
相模湖・津久井湖	水位	相模湖水位0m地点 標高 津久井湖水位0m地 点標高	167m 120m	167m 124m	
	水量	相模湖有効貯水量 津久井湖有効貯水量 公 表 水 量	48,200,000 m ³ 41,600,000 m ³ 89,800,000 m ³	48,200,000 m ³ 51,200,000 m ³ 99,400,000 m ³	洪水調節水量 9,600,000m ³
	丹沢湖	丹沢湖水位0m地点 標高	316.8m	321.5m	
	水量	丹沢湖有効貯水量	44,500,000m ³	54,500,000m ³	洪水調節水量 10,000,000m ³
宮ヶ瀬湖	水位	宮ヶ瀬湖水位0m地 点標高	275.5m	286m	
	水量	宮ヶ瀬湖有効貯水量	138,000,000m ³	183,000,000m ³	洪水調節水量 45,000,000m ³
合 計			272,300,000m ³	336,900,000m ³	

(3) 取水施設

名称	位置	構造	着工年月	竣工年月	事業者
鮑子取水ぜき	左岸：相模原市緑区寸沢嵐地先 右岸：相模原市緑区青山地先	鉄筋コンクリート (長さ 18.25m) 全面越流型可動せき (長さ 5.5m) (ゲート高 2.1m)	S48.12	S49.10	横浜市
沼本ダム	左岸：相模原市緑区三井地先 右岸：相模原市緑区寸沢嵐地先	重力式コンクリートダム (高さ 34.5m) (長さ 126m)	S15.11	S18.12	神奈川県
寒川取水ぜき	左岸：高座郡寒川町宮山地先 右岸：平塚市田村地先	鉄筋コンクリート (長さ 270m) 越流型フローティングタイプ (高さ 6m) (長さ 84.5m)	S37.4	S39.3	神奈川県 横浜市 横須賀市 (共同施設)
飯泉取水ぜき	左岸：小田原市中新田地先 右岸：小田原市扇町地先	全面越流型フローティングタイプ (高さ 5.4m) (長さ 342.5m)	S45.3	S48.8	企業団
相模大ぜき	左岸：海老名市社家地先 右岸：厚木市岡田地先	鉄筋コンクリート (長さ 495m) 可動せき (高さ 2.75m) (長さ 293.5m)	H7.10	H10.5	企業団

(4) 導水施設

導水施設は、道志川・相模湖・馬入川系統に分かれており、沈でん池・ずい道・管路・水路・暗きょ・ポンプ設備等の各施設があり、その大要は次のとおりです。

ア 導水管路

(令和5年4月1日現在)

区分	区間	管・ずい道及び水路橋延長(km)	摘要
道志川系	神奈川県相模原市緑区青山鮎子取入口から横浜市旭区上川井町川井浄水場まで	33.1	
相模湖系	神奈川県相模原市緑区谷ヶ原津久井分水池から横浜市保土ヶ谷区川島町西谷浄水場まで	44.0	工業用水、一部川崎市と共同
馬入川系	神奈川県高座郡寒川取水せき堤から横浜市戸塚区小雀町小雀浄水場まで	15.5	工業用水、横須賀市水道と共同
計		92.6	

イ 沈でん池等

(令和5年4月1日現在)

区分	名称	貯水量(m ³)	薬品貯蔵タンク
道志川系	青山沈でん池	67,000	ポリ塩化アルミニウム(PAC)用タンク 容量10m ³ ×2基 次亜塩素酸ナトリウム用タンク 容量2m ³ ×1基
道志川系	青山天日乾燥床	16,800	—
相模湖系	相模原沈でん池	883,000	ポリ塩化アルミニウム(PAC)用タンク 容量70m ³ ×2基

ウ ポンプ設備

(令和5年4月1日現在)

区分	管理所	箇所	台数	出力(kW)	吐出量(m ³ /分)	備考
馬入川系	小雀浄水場	2	14	12,800	1,514	寒川取水 小雀揚水
計		2	14	12,800	1,514	

(5) 浄水施設

ア 膜ろ過浄水施設

(令和5年4月1日現在)

浄水場名		川井浄水場	
所在地	横浜市旭区上川井町2555番地		
敷地面積 (m ²)	69,820		
給水能力 (m ³ /日) ※1	160,700		
処理能力 (m ³ /日) ※2	172,800		
膜ろ過装置仕様	ろ過方式	全量ろ過方式	
	膜ろ過流束 (m ³ /m ² /日)	3.6~4.1	
	膜種	セラミックス製内圧モノリス型精密ろ過膜	
	膜数 (本)	2,400	
	膜面積 (m ²)	57,600	
	装置設置数	24	
	洗浄方式	ろ過水・空気による物理洗浄及び薬品洗浄	
薬品注入施設	次亜塩素酸ナトリウム	定量ポンプによる注入 (希釈注入) 8m ³ ×2槽 (ポリエチレン製)	
	ポリ塩化アルミニウム	定量ポンプによる注入 15m ³ ×2槽 (ポリエチレン製)	
	苛性ソーダ	定量ポンプによる注入 (希釈注入) 8m ³ ×2槽 (ポリエチレン製)	
	微粉炭	定量ポンプによる注入 (希釈注入) 1m ³ ×1槽 (ポリエチレン製)	
	硫酸	定量ポンプによる注入 (希釈注入) 10m ³ ×2槽 (SS400製)	
排水処理施設	濃縮槽	有効容積14.5m×14m×深さ3.5m×2槽	
	給泥槽	20m ³ ×1槽	
	上澄水槽	80m ³ ×2槽	
	脱水機	形式	無薬注型短時間加圧脱水機 (圧搾機構付)
		台数	2
		ろ過面積	154m ² /台
		脱水ろ過速度	(平均濁度時) 0.7kg-ds/m ² ・h (最高濁度時) 1.2kg-ds/m ² ・h

イ 沈でん・砂ろ過浄水施設

(令和5年4月1日現在)

浄水場名		西谷浄水場		小雀浄水場		
所在地		横浜市保土ヶ谷区川島町522		横浜市戸塚区小雀町2470		
敷地面積 (m ²)		151,668(上水分146,000)		237,905(上水分 176,799)		
給水能力 (m ³ /日) ※1		366,400		709,700 横浜市 507,100 横須賀市 202,600		
処理能力 (m ³ /日) ※2		356,000※3		820,000		
沈 で ん 池				1系 沈でん池	2系 沈でん池	3系 沈でん池
	池数 (池)	4		6	4	4
	寸法 (m)	36.5×26.3×4.5H		25.7×31.6×4.5H		28.5×38.4×4.73H
	型式	横流式(傾斜板付)		スラッジブランケット型 (パルセーター) (傾斜管付)		横流式 (傾斜板付)
	有効容量 (m ³)	17,200		22,200	14,800	17,200
	処理能力 (m ³ /日)	360,000		300,000	200,000	320,000
(計)	池数 (池)	4		14		
	有効容量 (m ³)	17,200		54,200		
	処理能力 (m ³ /日)	360,000		820,000		
ろ 過 池		第1 急速ろ過池	第2 急速ろ過池	1系 急速ろ過池	2系 急速ろ過池	
	池数 (池)	10	16	24	30	
	寸法 (m)	13.2×10.2	9.35×11.55-8池 9.40×11.55-8池	10.2×13.2		
	方式	砂ろ過単層:8池 複層:2池 (レオポルドブロック)	砂ろ過単層 (ホイラー)	砂ろ過単層 (多孔管式及びレオ ポルドブロック)	砂ろ過単層 (レオポルドブロ ック)	
	ろ過面積 (m ²)	1,160 (116×10池)	1,440 (90×16池)	2,784 (116×24池)	3,480 (116×30池)	
	ろ過速度 (m/日)	160	120	150	150	
	処理能力 (m ³ /日)	185,000	171,000	417,600	522,000	
(計)	池数 (池)	26		54		
	ろ過面積 (m ²)	2,600		6,264		
	処理能力 (m ³ /日)	356,000		939,600		

注) ※1 浄水場から供給できる水量(保有水源量から作業用水等の損失や予備力等を除いた水量)の目安を示す計画上の能力

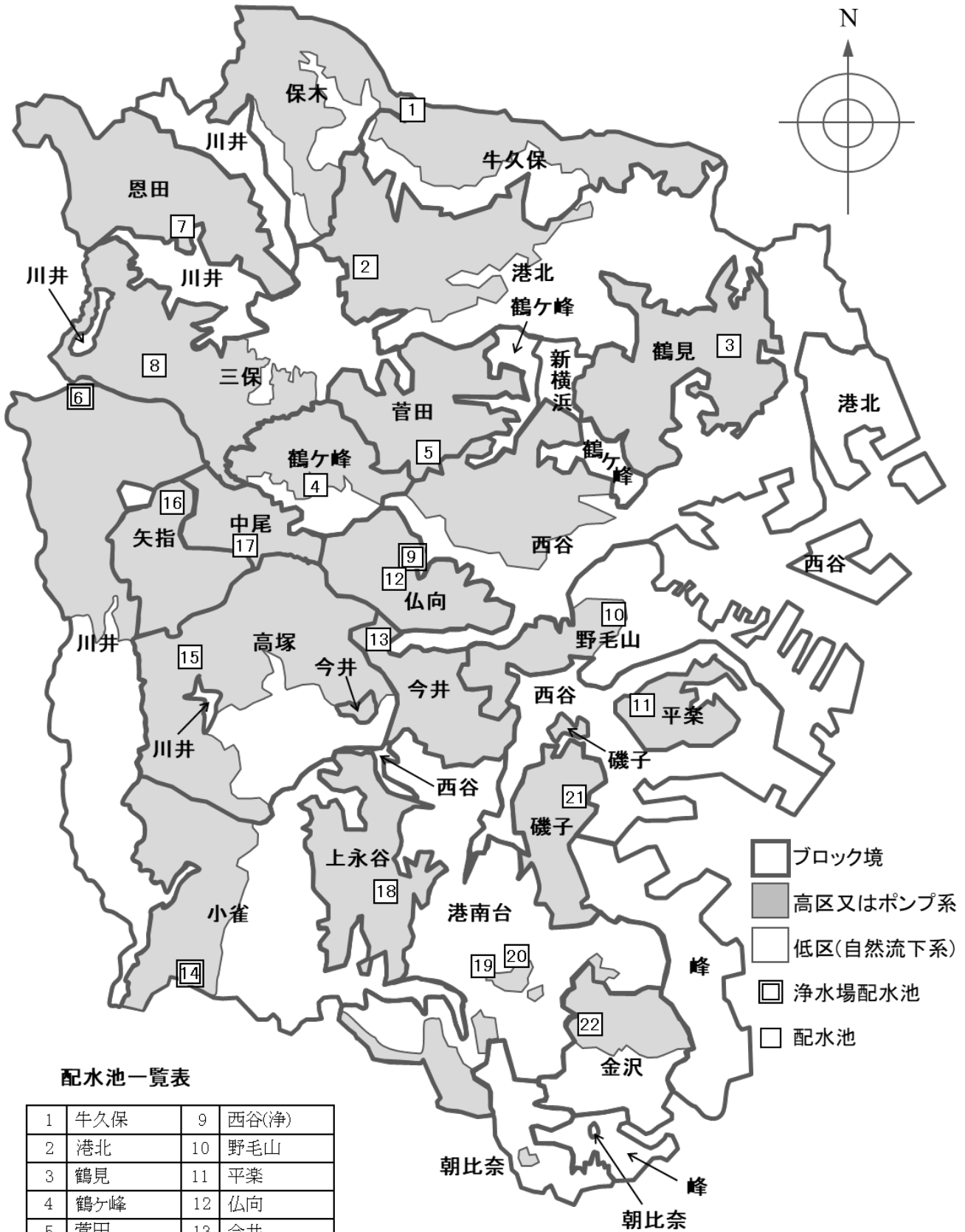
※2 浄水施設として処理可能な原水の水量を示す設計上の能力

※3 西谷浄水場は再整備後に設計処理能力を394,000m³/日に増強予定

浄水場名		西谷浄水場	小雀浄水場
ろ過池洗浄方式	表洗タンク (m ³)	逆洗と併用	4号配水池12,000、6号配水池10,000 (水頭20mを使用)
	表洗方式	第1急速ろ過池 回転方式 第2急速ろ過池 固定方式	回転方式
	逆洗タンク (m ³)	1,000 (水頭13m)	3号配水池 38,000 (水頭14m)
薬品貯留施設	次亜塩素酸ナトリウム (m ³)	40 (10×4基)	225 (75×3基)
	ポリ塩化アルミニウム (m ³)	84 (42×2基) 105 (52.5×2基)	400 (100×4基)
	苛性ソーダ (m ³)	84 (42×2基)	200 (100×2基)
	活性炭 (m ³)	—	130 (65×2基)
	硫酸 (m ³)	16 (4×4基)	60 (30×2基)
薬品注入方式	次亜塩素酸ナトリウム	(1)場内(前塩・中塩・後塩) ・注入方式 電磁流量計・調節弁經由自然流下方式 ・移送方式 貯留タンクから小出し槽までポンプ圧送 (2)補給塩素(小雀系) 液中型注入ポンプ 100/h×2台 (1系列) (3)補給塩素(企業団流入系) 定量ポンプによる計量加圧注入方式 200/h×2台 (2系統) (4)補給塩素(3号配水池流出系) 定量ポンプによる計量加圧注入方式 200/h×2台 (2系統)	(1)場内 ・注入方式 電磁流量計・調節弁經由自然流下方式 ・移送方式 貯留タンクから小出し槽までポンプ圧送 (2)補給塩素(小雀配水系) 液中型注入ポンプ 20/h×3台 60/h×3台 による圧送方式 (3)補給塩素(環状幹線系) 液中型注入ポンプ 350/h×4台 による圧送方式 (4)補給塩素(3,6号配水池) 液中型注入ポンプ 350/h×3台 180/h×3台 による搬送水への希釈注入方式
	ポリ塩化アルミニウム	次亜塩素酸ナトリウム(1)に同じ	貯留タンクと電磁流量計、調整弁制御の自然流下方式
	苛性ソーダ	加圧ポンプ圧送方式	加圧ポンプ圧送方式
	活性炭	粉末直接計量後水溶解してポンプ圧送による注入方式 ※鶴ヶ峰配水池敷地内で注入	Dry 粉末直接計量後微粉碎し、水溶解してポンプにて搬送水に希釈注入する方式 微粉炭最大 110kg/h+原料炭最大 440kg/h
	硫酸	定量ポンプによる計量注入方式	次亜塩素酸ナトリウム(1)に同じ
排水処理施設	沈砂池 (m)	—	20×4×4H-1池
	排水池 (m)	16×16×4.5H-3池	60×12×5H-2池
	揚泥ポンプ井 (m)	—	24×48×3H-1池
	排泥池 (m)	20×20×5.0H-2池	36×36×5H-3池
	汚泥濃度調整槽 (m)	ポリマー注入設備 15m ³ ×2槽	3×3×9.1H-1池
	返送池 (m)	17×5.25×5.3H-2池	573m ² ×5H-1池
	濃縮槽 (m)	18×18×5.0H-2池 16×16×5.0H-2池	—
	汚泥調整槽 (m)	—	13×20×5.8H-2池 13×16×5.8H-2池 22×30×4.8H-2池 φ26×5H-2池
型式	無薬注長時間型圧搾機構付加圧脱水機 2基 (7.6DS-t/日) 乾燥機 2基、脱臭塔 2基 天日乾燥床 300m ² -4池	環境創造局南部汚泥資源化センターにおいて処理 最大送泥量 概ね 900m ³ /日又は 18DS-t/日	

(6) 送・配水施設

ア 配水ブロック図



配水池一覧表

1	牛久保	9	西谷(浄)		
2	港北	10	野毛山		
3	鶴見	11	平楽		
4	鶴ヶ峰	12	仏向		
5	菅田	13	今井		
6	川井(浄)	14	小雀(浄)	17	中尾
7	恩田	15	高塚	18	上永谷
8	三保	16	矢指	19	港南台
				20	峰
				21	磯子
				22	金沢
				(企)	保木
				(企)	矢指
				(企)	朝比奈

(浄): 浄水場配水池

新横浜: 企業団西長沢浄水場からの受水エリア

※工事等により、一時的に配水ブロックが変更する場合があります。

イ 配水ブロック及び配水池

ゾーン	配水ブロック		配 水 池		池 数		有効貯水量 (m ³)	運用貯水量 (m ³)
					池	槽		
企業団 (西長沢)	1	保 木		(保木調整池)	(1)	(2)	(20,000)	(-)
	2	牛 久 保	1	牛久保配水池	1	2	30,000	33,000
小 雀	3	港 北	2	港北配水池	3	4	136,000	124,000
				(港北調整池)	(1)	(1)	(33,600)	(-)
企業団 (西長沢)	4	新 横 浜		—	—	—	—	—
	5	鶴 見	3	鶴見配水池	1	3	22,000	23,900
川 井	6	鶴 ケ 峰	4	鶴ヶ峰1号配水池	2	2	16,000	16,000
				鶴ヶ峰2号配水池	1	2	3,000	3,000
	7	菅 田	5	菅田配水池	1	2	25,000	25,000
	8	川 井	6	川井4号配水池	1	2	20,000	20,000
				川井5号配水池	1	2	30,000	30,000
	9	恩 田	7	恩田配水池	1	2	25,000	25,000
10	三 保	8	三保配水池	1	2	30,000	30,000	
西 谷	11	西 谷	9	西谷1号配水池	1	2	休止中	—
				西谷2号配水池	2	2	35,300	32,200
				西谷3号配水池	1	2	109,500	109,000
	12	野 毛 山	10	野毛山新配水池	1	2	40,000	40,000
13	平 楽	11	平楽配水池	1	2	6,000	6,000	
企業団 (相模原)	14	仏 向	12	仏向配水池	1	2	20,000	20,000
	15	今 井	13	今井配水池	1	2	30,000	30,000
			(矢指調整池)	(1)	(2)	(30,000)	(-)	
小 雀	16	小 雀	14	小雀1号配水池	1	2	22,300	21,500
				小雀2号配水池	1	2	27,500	26,300
				小雀3号配水池	1	2	38,000	38,000
				小雀4号配水池	1	1	12,000	16,000
				小雀5号配水池	1	1	30,000	32,000
				小雀6号配水池	1	1	7,500	10,000
				(小雀調整池)	(1)	(2)	(30,000)	(-)
	17	高 塚	15	高塚配水池	1	2	28,000	28,000
	18	矢 指	16	矢指配水池	1	2	15,000	15,000
	19	中 尾	17	中尾配水池	1	2	10,000	10,800
	20	上 永 谷	18	上永谷配水池	2	2	20,000	20,000
	21	港 南 台	19	港南台1号配水池	1	2	40,000	40,000
				港南台2号配水池	1	2	50,000	50,400
	22	峰	20	峰配水池	1	1	14,400	11,800
23	磯 子	21	磯子配水池	1	2	15,000	15,000	
企業団 (綾 瀬)	24	金 沢	22	金沢配水池	1	2	50,000	50,000
	25	朝 比 奈		(朝比奈調整池)	(1)	(2)	(30,000)	(-)
6ゾーン 25ブロック			22か所		37 (42)	63 (72)	957,500 (1,101,100)	951,900

- (注) 1 池数及び有効貯水量の計の()内は企業団調整池を含む。
2 小雀4号配水池の有効貯水量は、横須賀分4,000m³を除いた貯水量。
3 小雀6号配水池の有効貯水量は、横須賀分2,500m³を除いた貯水量。

(令和5年4月1日現在)

形状寸法 L×W (m)	H.W.L (m)	L.W.L (m)
80.8×51.8	79.20	74.20
80.0×80.7	65.00	59.50
80.0×100.0(3槽)	60.00	55.50
80.3×32.8	60.00	53.50
80.3×66.3	60.00	53.50
—	—	—
φ60.0	49.00	44.00
増設φ80.0(同心半リング状)	49.00	44.00
63.0×27.0(2池)	71.00	66.00
17.4×37.8	83.80	78.80
90.0×60.0	60.00	55.00
78.8×57.6	80.00	75.00
98.6×54.2	90.50	84.50
変形 星型	66.50	60.50
77.9×82.2	80.00	75.00
73.2×95.2	72.25	66.25
46.8×72.0(2池)	67.16	62.16
120.0×160.0	72.25	66.25
170.0×54.0	49.00	44.00
26.0×42.0	49.00	43.00
51.0×86.0	74.00	69.00
125.0×40.0	65.00	57.50
70.0×19.5~47.2(台形)	83.30	78.30
85.6×42.6		
80.4×79.0	52.00	48.00
56.0×48.6、78.0×38.6	52.00	47.00
100.0×80.0	75.00	70.00
81.0×40.6	81.60	76.60
128.0×70.0(変形)	52.00	47.00
内径 48.2(円形)	82.10	76.60
L型	54.00	48.00
124.0×47.0	83.50	78.50
76.8×49.2	82.00	78.00
50.0×50.5	77.00	71.00
56.0×26.0	66.00	58.00
52.0×26.0		
96.5×91.4	110.00	105.00
106.8×70.2(変形)	110.00	102.00
49.4×59.4	61.00	56.00
60.0×50.0	57.50	52.50
115.4×91.4	57.00	52.00
113.8×46.6	93.00	87.00

4 H.W.L=有効貯水量に対する最高水位
L.W.L=有効貯水量に対する最低水位

ウ 送・配水ポンプ

(令和5年4月1日現在)

区分	管 理 所	箇所	台数	出 力 (kW)	吐出量 (m ³ /分)	ポ ン プ 場 名
送水ポンプ	西 谷 浄 水 場	3	8	1,304.0	421.40	西谷浄水場送水・鶴ヶ峰送水・磯子送水
	小 雀 浄 水 場	4	18	11,011.0	987.40	3, 4号配水池送水・環状幹線・港南台第1送水・金沢配水池
	計	7	26	12,315.0	1,408.80	
配水ポンプ	西 谷 浄 水 場	17	72	10,610.9	999.74	鶴見・菅田・仏向・西谷・野毛山・平楽配水・磯子配水・鶴ヶ峰配水・綱島台・汐見台・今井・牛久保・恩田・三保・新奈良・奈良北・保木
	川 井 浄 水 場	1	5	750.0	66.50	川井配水
	小 雀 浄 水 場	14	54	4,898.5	424.32	高塚・港南台・公田・氷取沢・富岡配水槽・上郷・六浦高区・東朝比奈・小雀配水・上永谷・金沢・中尾・矢指・港北
	計	32	131	16,259.4	1,490.56	
合 計		39	157	28,574.4	2,899.36	

エ 管種別配水管延長

(単位：km)

管 種	年 度	H29	30	R元	2	3	4
	鑄 鉄 管		7,011.7	7,051.3	7,079.9	7,110.9	7,142.8
鋼 管 類		1,459.3	1,434.9	1,409.8	1,383.5	1,373.3	1,360.8
樹 脂 管 類		812.0	811.1	819.4	824.4	816.1	800.1
鋼弦コンクリート管		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
合 計		9,287.4	9,301.7	9,313.5	9,323.2	9,336.6	9,345.8

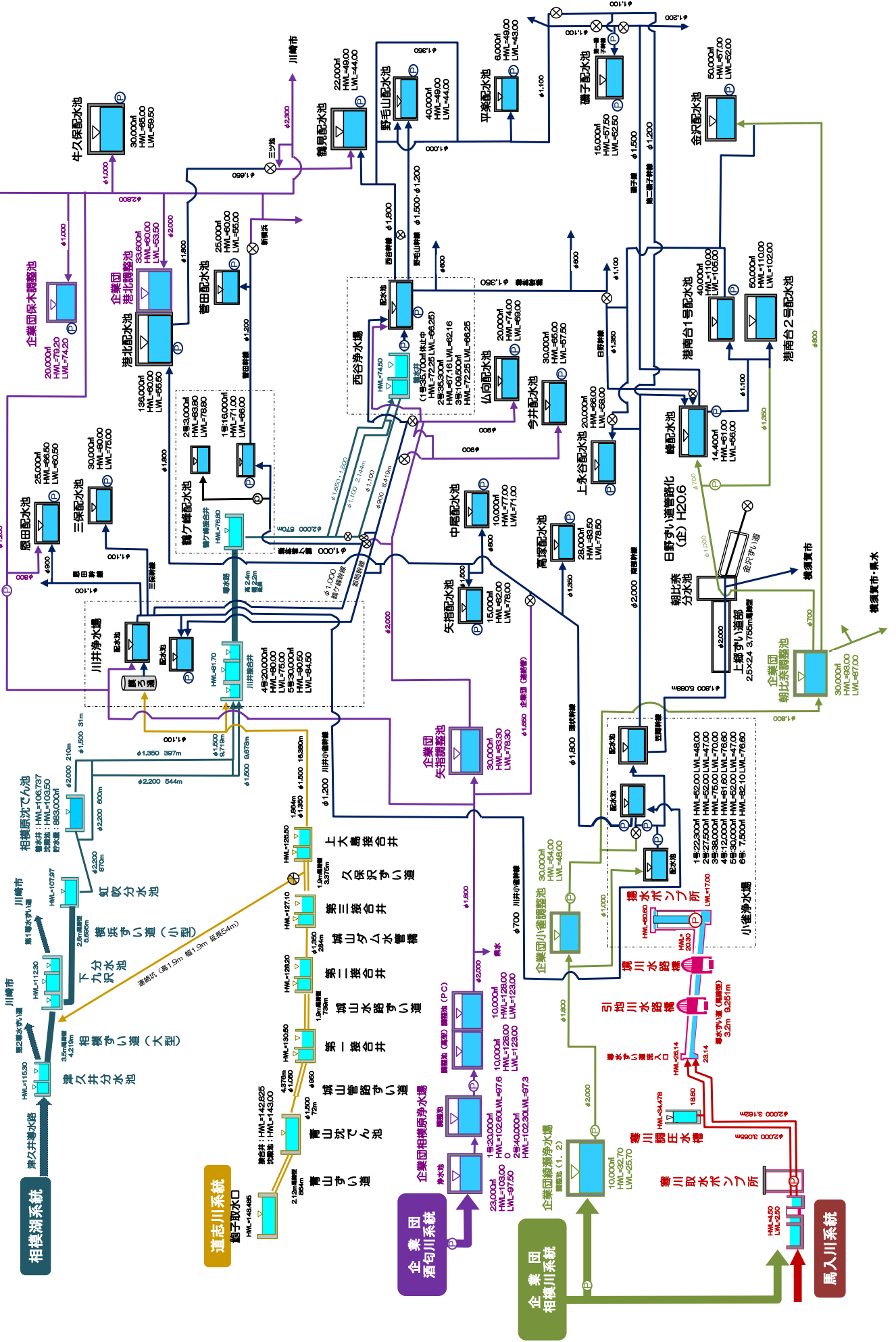
(注) 送水管を含む。

(参考) 道路内平行私有管延長 (令和5年3月末現在)

区 分	φ75以上 (km)	φ50以下 (km)	計 (km)
公 道 内	9.7	89.9	99.6
私 道 内	29.0	664.9	693.9
計	38.7	754.8	793.5

(7) 水道施設フロアシート図

令和5年4月現在



(8) 道志水源林

ア 水源林の概要

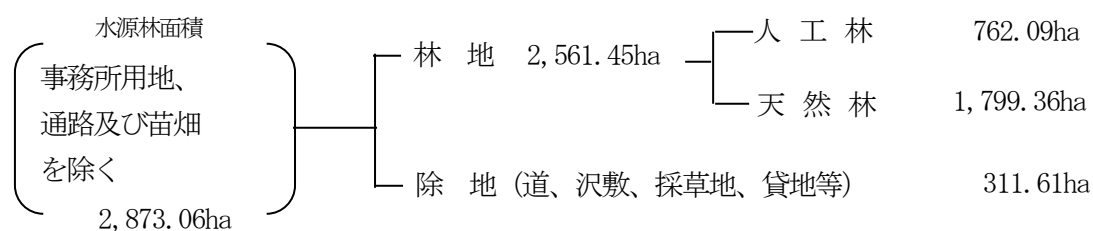
水道局は、本市唯一の単独水源である道志川が流れる山梨県南都留郡道志村に2,873haの水源林を所有しています。これは、道志村の総面積7,968haの約36%にあたり、都筑区の面積(2,788ha)とほぼ同じです。

水源林は、「緑のダム」とも呼ばれており、雨水をたっぷり吸収し、良質な地下水に浄化するとともに河川への流量を調整するなど、土砂の流出や洪水を緩和する機能を持っています。

イ 管理面積の推移 2,873.06ha (道志村面積の約36%)

名 称	増△減 (ha)	買収価格 (円)	買 収 等 年 月
山梨県恩賜県有林 (1~38林班)	2,780.93	131,415	大正5年5月
三ヶ瀬39林班	71.81	7,603	大正10年6月
杉沢2林班 (一部)	9.88	2,783	大正11年1月
農地解放による減	△7.06	-	昭和22年
事務所用地民地との交換	0.14	-	昭和24年
国・県道等に関する減	△1.25	-	昭和30年~ 58年
大室40林班	14.39	15,000,000	平成5年3月
善之木41林班	4.22	64,841,378	平成10年1月
計	2,873.06	79,983,179	

ウ 水源林面積の内訳 (令和5年4月1日現在)



エ 道志村への助成金等

水源林買収以降、横浜市の水道水源である道志川の保全と、道志村との円滑な関係のため、道志村が行う自然環境の保全や地域住民の生活基盤の向上を資する事業について、その経費の一部を負担しています。

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	2	3	4	5 (予算)
補助交付金	86,500	86,500	86,500	86,500
生活排水処理助成金	42,595	43,104	48,267	53,731
簡易水道整備助成金	5,736	5,765	5,513	5,503
計	134,831	135,369	140,280	145,734

道志水源林ボランティア事業

本市では、水源地の一つである道志川の水質を守るため、大正5年（1916年）から山梨県道志村に約2,873ha、道志村の面積の約36%を占める水源林を保有し、いわゆる「緑のダム」として100余年の長期にわたり計画的に保護育成を行ってきました。

しかし、道志村の面積の約6割を占める民有林には人手不足等から手入れが行き届かない森林もあり、水源かん養機能（水を蓄え、浄化し、洪水を緩和する機能）の低下が懸念されています。

そこで、平成16年度から、市民ボランティアの協力を得て、これらの荒廃の進む恐れのある民有林を再生し、森林の持つ水源かん養機能を向上させることを目的とした『道志水源林ボランティア事業』を行っています。

ボランティア事業は、「NPO法人 道志水源林ボランティアの会」などの市民ボランティア団体が水道局と連携して、間伐などの森林整備作業を進めています。令和4年度までの19年間で延べ19,000人以上が活動に参加し、約78haの民有林を整備しました。



「NPO法人 道志水源林ボランティアの会」の連絡先

〒231-0031 横浜市中区万代町3-5-8 大久保ビル402号
TEL・FAX 045-664-3972

「横浜市水のふるさと道志の森基金」

市民の自主的な水源林保全活動を支援する目的に加え、直接ボランティア活動に参加できない方でも資金協力という形で広く水源林保全活動に参加いただけるように、平成18年3月に「横浜市水のふるさと道志の森基金」を設置しました。

この基金は、市民や企業からのご寄附などから成るもので、「道志水源林ボランティア事業」を安定して支える財源として活用しています。4年度末における基金残高は、約8,600万円となっています。

基金への寄附は、横浜市ウェブサイトあるいは、区役所等に置いてあるリーフレットの申込みはがき等で受け付けています。

「横浜市水のふるさと道志の森基金」に関するお問合せ先

水道局広報課 TEL 045-671-3084

「水源エコプロジェクトW-eco・p（ウィコップ）」事業

きれいな水を創り出す豊かな森林を育み、次世代に引き継ぐため、水道局が山梨県道志村に所有する水源林（公有林）を、企業や団体からのご寄附により整備しています。

「ウィコップ」協定に基づき、原則3年間3ha以上の水源林整備に係る費用（30万円/ha）をご寄附いただく仕組みで、企業や団体は森林の名称設定ができるなど、SDGs活動の推進やPRに活用いただくことができます。

【整備面積】

- ・令和5年度整備予定面積 24.41ha（令和5年度公有林整備予定面積全体の約33%）
- ・平成21～令和4年度累計 274.05ha

【令和5年度参加企業・団体】

1	株式会社京急百貨店	10	株式会社G Tアソシエーション
2	株式会社ブリヂストン	11	株式会社伊藤園
3	公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会	12	横浜信用金庫
4	株式会社ファンケル	13	株式会社ツクイ
5	株式会社エコシティサービス	14	メタウォーター株式会社
6	株式会社清光社	15	株式会社日本ウォーターテックス
7	東京ガスエコモ株式会社	16	株式会社京三製作所
8	パシフィックコンサルタンツ株式会社	17	株式会社宅配横浜
9	横浜読売会	18	株式会社デック